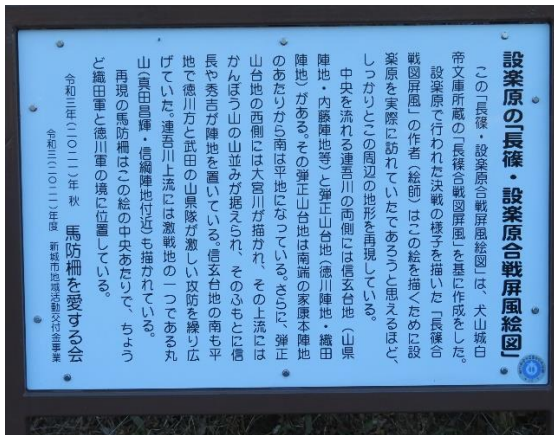


設楽原古戦場 新城市竹広大宮清水 1 - 9

この戦いは、武田軍の騎馬による突撃戦を織田・徳川連合軍が馬防柵の構築と大量の鉄砲使用によって粉碎したことで知られ、信長が三千挺もの鉄砲を三段構えで撃ち(最近、本件は見直しされている)、武田の騎馬隊を打ち破った戦いとして知られています。それまでの合戦の様相を一変するものとなった。そして、無敵を誇る武田軍勝頼は敗戦を認めて退却を決した。この退却戦で内藤昌豊、馬場信房らが勝頼を逃すために追撃の織田軍の前に立ちほだかり討死した。一方の勝者となった織田信長はこれを期に天下人としての地位を確固たるものとしていくのである(説明版)。



合戦の説明版



設楽原合戦屏風絵図



馬防柵



馬防柵に建つ土屋右衛門尉昌次戦死之地碑



鉄砲構えの説明版



馬防柵を武田側から



連吾川の橋



歴史資料館から馬防柵



設楽原での陣営構え